

流れ藻観測速報

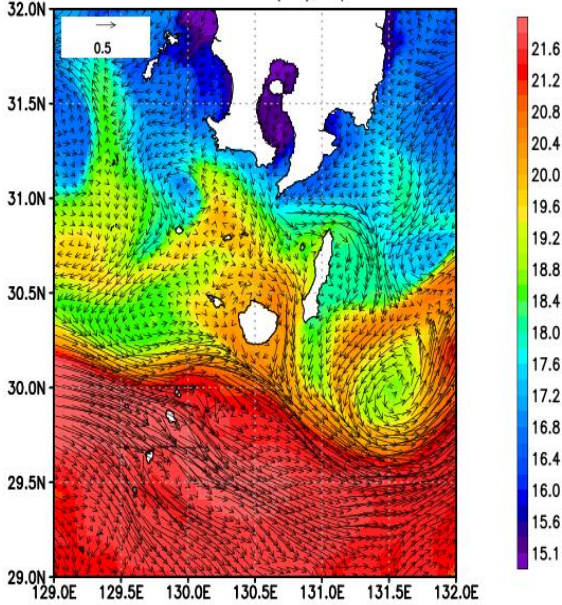
鹿児島大学水産学部水圏科学分野
20230215

観測期間:2023年2月13日~15日

観測船:南星丸

観測海域:北部薩南海域

Bckgr: Potential Temperature at Model Level [C]+Sea Current at Model Level [m/s];
20230213 09:00 JST (ANL); Dep=1 m



解説

鹿児島大学水産学部では、薩南海域へ来遊する流れ藻の漂流予測を目指した研究を行っている。モジヤコ漁の漁期前・漁期中において、薩南海域に來遊する流れ藻の情報を漁業者に提供するため、鹿児島大学練習船を使って、北部薩南海域（鹿児島湾口部）の流れ藻観測を2月13日~2月15日に実施した。

観測期間中、黒潮はトカラ海峡を北西から南東に向かって流れていたが、北部薩南海域には黒潮から派生したと考える暖水域が大隅海峡西部に見られた。DR_Eでは明確な黒潮フロントが見られると共に、鹿児島湾口部付近にも暖水と冷水のフロントが見られた。鹿児島湾口部付近に見られたフロントに沿って流れ藻観測を行ったところ、黒点部分において流れ藻が発見された。

今後、2月15日~22日、22日~24日にも同様な流れ藻観測を行う予定である。

図1. 鹿児島大学工学部によって運用されている高分解能海洋モデル(DR_E)における流れ(矢印)および海面水温(赤~青)の2月13日の結果(ホームページより引用).

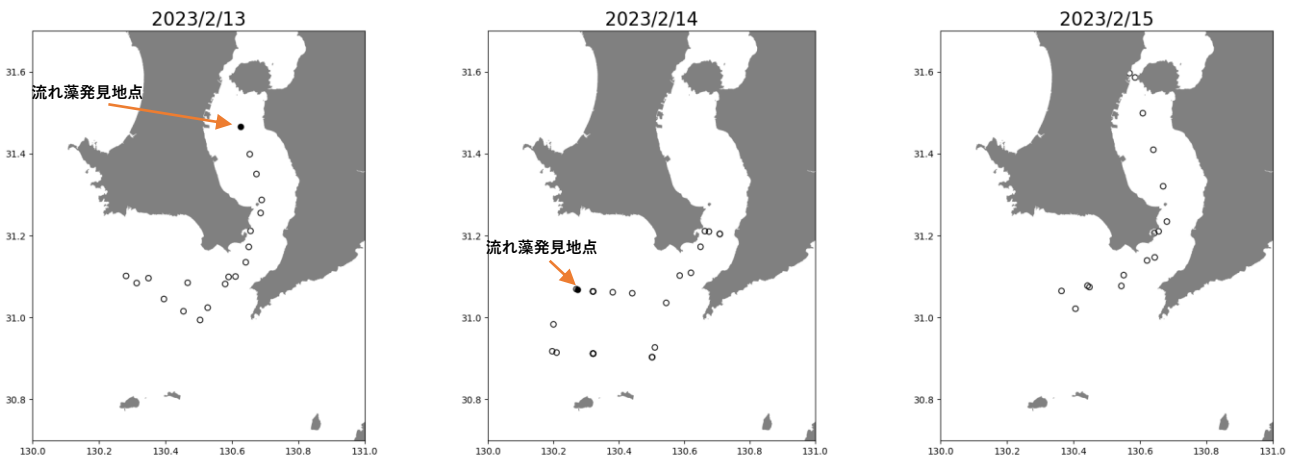


図2. 鹿児島大学練習船南星丸による流れ藻観測結果. 2月13日鹿児島湾内、14日薩南海域にて、流れ藻が発見された.